

## ① サプライチェーン強靱化の必要性について

- ✓ サプライチェーンの脆弱性が日本の産業分野の広範な産業分野に影響を及ぼすことが、今回のコロナ禍で明らかになった。我が国としても有効な対策を考えていく必要。
- ✓ 資源がない島国として、資源や素材をどう確保していくかを検討していく必要。

## ② 政府がサプライチェーンに関与すべき物資の基本的な考え方について

- ✓ 最先端産業を対象とするべき。日本の強みを伸ばすような支援措置を講じていく必要。
- ✓ 代替性の有無などを考慮しつつ、エコノミック・ステイトクラフトの対象になって困るものは何かという観点で検討したらどうか。特定国への依存度をもとに抽出する方法も考えられる。
- ✓ 偏在性から経済的に武器として利用されてしまうような機微な技術はまず大切と考える。
- ✓ 国民の生命に関わるものと未来の産業力等に影響を及ぼすものでは、強靱化の対象とする判断基準が異なるため、それぞれに応じた議論が必要。
- ✓ 需要サイドにおいて代替品がなく、物資価格が上がっても代替供給が叶わない物資を選択していくのではないか。
- ✓ 川上の事業者が国内生産から撤退しているのに気づけなかった事例も見られる。リスクマッピングを作成して検討を進めるべき。

## ③ サプライチェーン強靱化のための政策的な措置・留意点について

- ✓ 迅速な決定を下せるよう機動的に措置を講じていくことができる制度設計にすべき。
- ✓ 日本の強みを伸ばすような支援措置を講じ、サプライチェーンの川上を抑えられるような支援を進めるべきではないか。
- ✓ 規制的なものではなく、企業の強靱化策をインセンティブ等で誘導・後押しする措置であるべき。
- ✓ 物資によって置かれた状況は異なるため、措置も一様ではないことに留意する必要。
- ✓ コロナ禍においてサプライチェーンの把握が十分できない事象が明らかになった。政府の調査権限は必要ではないか。
- ✓ サプライチェーンの強化は重要だが、WTO協定との関係を整理したうえで、制度の建付けはよく検討すべき。
- ✓ サプライチェーンのボトルネックを可視化をするべき。その上で代替ネットワークをどうやって作るか等戦略的な方針を作ることが重要。